

# ■ 鴛泊港みなとオアシス登録と新フェリーターミナル『海の駅おしどまり』の供用について

利尻富士町 産業建設課

## 1 みなとオアシス登録

平成26年1月24日に鴛泊港が道内9番目となる『みなとオアシスりしりとう・おしどまり』として登録されました。

登録にあたり、活動組織として町内観光関係及び商工業関係等の代表から成る『鴛泊港活性化推進協議会』が平成25年7月8日に組織され、事業計画の内容について企画・検討を重ねてきました。

『みなとオアシスりしりとう・おしどまり』は、利尻島の恵まれた景観等を活用した賑わい創出や情報発信の最前線基地として、鴛泊港緑地やペシ岬展望台等既存施設を活用したイベントを企画・実行し、地域活性化を推進します。

また、「北海島まつり」の会場となる中心市街地やファミリーキャンプ場『ゆ〜に』等アメニティーパークを連携地区として、みなとに賑わいを呼び込み、観光交流拠点づくりを目指します。



## 2 『海の駅おしどまり』供用

平成26年3月22日に平成23年度より整備を進めていた鴛泊港新フェリーターミナル『海の駅おしどまり』の完成を祝い、北海道開発局稚内開発建設部と利尻富士町の共催による供用式典が挙行されました。

供用式典では、武部新衆議院議員、鈴木貴子衆議院



議員、徳永エリ参議院議員をはじめ、関係省庁及び市駅」町村長等島内外から約150名に出席いただき盛大に執り行われております。

また、供用式典の中では『みなとオアシスりしりとう・おしどまり』の登録証授与式が行われました。

登録証は、川合紀章北海道開発局港湾空港部長から田村祥三利尻富士町長へ授与され、「この度の登録により、活動組織である『鴛泊港活性化推進協議会』を中心に地域活性化が図られることを期待します。」と挨拶がありました。

登録証は、『海の駅おしどまり』2階掲示板に「海の登録証」とともに掲示してあります。



なお、翌23日には25日の供用開始に先立ち島民に一般公開を実施したところ、約500人が訪れ『海の駅おしどまり』に対する期待・関心の高さが窺われました。

今後も『鴛泊港活性化推進協議会』の取り組みによって、みなとまちづくりの促進や更なる賑わい創出が期待されます。

中でも『海の駅おしどまり』は『みなとオアシスりしりとう・おしどまり』の基本施設の中でも核となる施設であり、ボーディングブリッジを有したバリアフリー対応施設として高齢者や身体に不自由がある方ももちろん、島民はじめ観光客の方々の利便性向上に寄与するとともに、利尻島の玄関口という位置付けだけではなく「都市と離島とを結ぶ交流活動の拠点」として、地域情報発信、みなとイベントの開催を通じて観光との融合を図り、みなとからの賑わい創出・活性化を目指して行きます。